

科目区分	専門分野	授業科目	基礎看護方法論Ⅷ（与薬）
講師名	矢口 由里子	実務経験の有 無	有
単位数（時間）	1単位（30時間）	開講年次	2年次 前期
<p>目的： 診療補助技術である与薬に関連する知識・技術・態度を学ぶ</p> <p>目標： 1) 安全な与薬のための6R確認ができる 2) 与薬方法が理解できる 3) 安全・正確な注射の技術が実施できる 4) 輸血管理の基本的な方法が理解できる</p>			
回	時間	講義内容	
1	2	与薬の基礎知識	薬剤に関する法律、薬剤の管理、看護師の役割と与薬実施上の責任、6つのRight、薬物の作用と影響因子、与薬経路と体内循環、 45 薬剤等の管理（毒薬、劇薬、麻薬、抗悪性腫瘍薬）
2	2	与薬の方法① 内用・外用	経口与薬、吸入、点眼、点鼻、点耳、経皮的与薬、直腸内与薬
3	2 演習	与薬の実際① 内服・経皮薬・直腸内与薬	皮内注射の部位を正しく選定し、安全・正確に実施する 安全に直腸内与薬を実施する 38 経口薬（バツカル錠、内服薬、舌下錠）の投与 39 経皮・外用薬の投与 40 座薬の投与
4	2	与薬の方法② 注射	注射の種類、必要物品と準備、 針刺し防止策と針刺し後の対応 62 針刺し事故の防止・事故後の対応
5	2	与薬の方法③ 皮下・筋肉・皮内注射	注射部位の選択・適応・実施方法・留意点
6	2 演習	与薬の方法④ 薬剤の準備	安全・正確に注射器に薬剤を準備する
7	2 演習	与薬の実際② 皮下・筋肉注射	皮下・筋肉の部位を正しく選定し、安全・正確に実施する 41 皮下注射 42 筋肉注射

8	2 演習	与薬の実際③ 薬剤の準備	安全・正確に注射器に薬剤を準備する
9	2	与薬の方法⑤ 静脈内注射	注射部位の選択・適応・実施方法・留意点
10	2 演習	与薬の実際④ 静脈内注射	薬剤の準備、血管の選定および安全・正確に静脈内注射を実施する
11	2	与薬の方法⑥ 点滴静脈内注射	注射部位の選択・適応・実施方法・留意点
12, 13	4 演習	与薬の実際⑤ 点滴静脈内注射	血管の選定および安全・正確に点滴静脈内注射を実施する 43 静脈路確保・点滴静脈内注射 44 点滴静脈内注射の管理
14	2	与薬の方法⑦ 医療器機・輸血	医療機器（輸液・シリンジポンプ）の特徴、輸血管理 45 薬剤等の管理（血液製剤） 46 輸血の管理
	1	技術評価	薬液準備
	1	単位認定試験	筆記試験
講義方法		講義、演習	
評価方法		単位認定試験（筆記試験7割：技術評価3割）総合的に評価します。	
テキスト		1) 医学書院：系統看護学講座 専門分野，基礎看護技術ⅠⅡ 2) メディックメディア：看護がみえる①基礎看護技術 ②臨床看護技術	
備考		事前学習あり ・各講義前にテキストの講義範囲を一読と動画（QRコード）の視聴 ・事前課題があるときは、取り組んでから出席する ・参考文献は、配布資料に明記	